

## 令和4年度岩手県農政審議会 会議録

日時 令和5年2月14日(水)  
場所 盛岡市勤労福祉会館大ホール

### 1 開会

### 2 あいさつ

藤代農林水産部長があいさつを述べた。

### 3 委員紹介

村上農業振興課担い手対策課長が委員を紹介した。

### 4 議事 部会長及び副会長選任

会長及び副会長の選任について

会長に小野寺敬作委員が、副会長に鈴木重男委員がそれぞれ選任された。

### 5 部会員の指名について

事務局が部会委員の名簿を配付した。

## 各部会開催につき一時中断

### 6 報告事項

#### (1) 部会長及び副部会長の選任結果について

村上農業振興課担い手対策課長が、各部会の部会長及び副部会長の選任結果について説明。

農政部会：部会長 杉原永康委員、副部会長 遠藤美江子委員

農地部会：部会長 大宮惇幸委員、副部会長 細川睦委員

生産流通部会：部会長 五日市達洋委員、副部会長 塚本知玄委員

#### (2) 新たな「いわて農業農村整備の展開方向」の策定について

大宮惇幸委員が、農地部会の審議結果について報告した。

#### (3) いわて県民計画第2期アクションプラン(最終案)について

中村技術参事兼農業振興課総括課長が、資料2により説明した。

#### 【質疑・意見等】

##### ○ 上田東一委員

新規就農者の確保・育成について、親元就農者への支援を推進するとあるが、具体的な計画案はあるか。

##### ○ 竹澤農業普及技術課総括課長

県独自の支援については、現時点ではないところ。国の支援事業を最大限に活用しながら、定着するよう進めていきたい。

- 上田東一委員  
木材加工業に進出するという方がいないという状況、県の木材支援の具体的な計画はあるのか。
- 高橋農林水産企画室企画課長  
花巻市だけではなく、県北の施設に大規模な施設があり、事業の計画があると聞いている。
- 上田東一委員  
天然木材を使うものが少ないと感じている。バランスの取れた施設の整備というものを考えていってほしい。
- 役重眞規子委員  
限界集落等、地域によって厳しい状況にある地域もあると思うので、農林水産部として地域への支援をどのように考えているのか。  
自然災害に強い農山漁村について、治水や田んぼダム等の取組が必要になると考えている。土地改良施設について、集落全体で水利施設への関心を高めていくことが重要と考えるが、県の考えを教えてください。
- 中村技術参事兼農業振興課総括課長  
農村 RMO の育成について、既存の地域運営組織または中山間交付金を活用している組織等へ、生活支援も含めた組織形成を進める取組を拡大したいと考えている。
- 茂田農村計画課企画調整課長  
小推力発電等、地域に興味を持ってもらっている状況。アンケートも取りながら、支援が必要な地域へ PR しながら、改良区が中心となっている出前授業に県も水利の重要性を周知していきたい。

#### (4) 令和5年度農業・農村関係予算について

中村技術参事兼農業振興課総括課長が、資料3により説明した。

##### 【質疑・意見等】

- 上田東一委員  
市町村が来年度の予算を計上して段階で、県の新たな施策について情報があり、市町村が対応できないという声が聞こえた事例があった。情報共有しながら一緒に考えながら良い施策を作っていくようお願いする。  
酪農経営が非常に厳しく、乳価が上がるまで農家が持つのか心配している。実態を調べて必要な支援を検討してほしい。  
水田活用の直接支払について、国は農業者の意見を少し聞いてくれたと思っている。ただ、水張できない状況もあり、5年後のことを見据えた取組を検討、国に対して働きかけしていただきたいと考えている。

- 米谷畜産課総括課長  
国の飼料価格安定制度を活用しているところ。支援制度の働きかけを行い、自給飼料の生産等、そのような取組を現地の普及センターと進めているところ。大変な状況と認識している。できる限りの取組を進めていく。
- 中野参事兼団体指導課総括課長  
各農協団体と意見交換する場面があり、農業者の状況も踏まえて素早く相談を受けられるように進め、運転資金について速やかに対応できるようにしていく。
- 佐々木農産園芸課総括課長  
リンドウ等、栽培のローテーションにより難しい品目もあると意見があることから、国にもそのような地域の実情があること理解してもらうよう要望しているところ。  
経営所得安定対策についても国に要望しているところから、皆さんから情報をいただきながら必要な情報を引き続き国に伝達していきたいと考えている。
- 千田技監兼農村整備担当技監兼農村計画課総括課長  
水田から転換した場合、賦課金が畑地化により減少することによる懸念がある。虫食いの畑地化が進むと土地改良事業上不都合も生じると考えている。畑地化するのであれば団地化し、そのような地域では水利施設を廃止する等、地域でよく議論していく必要があると考えている。
- 照井勝也委員  
畑地化について、地目変更は求めないが、地権者にも了解を貰うこととなっているが、耕作者としてはこれは大変な作業なため、行政からの支援もあると助かる、市町村等と協力してほしい。
- 佐々木農産園芸課総括課長  
畑地化の進め方として、畑地化促進事業について選択肢として提案しているところ。
- 照井農政担当技監兼県産米戦略室長  
県の予算について、国庫事業については要望調査等を実施しているところ。市町村の意見が必要なものについては早めに情報共有して対応したいと考えてる。

#### 4 その他

#### 5 閉会